




岐阜県内の経済情勢

令和6年11月7日

東海財務局 岐阜財務事務所

1. 岐阜県内の経済情勢（令和6年10月判断）

項目	前回（6年7月判断）	今回（6年10月判断）	前回比較	総括判断の要点
総括判断	回復に向けた動きに一服感がみられる	緩やかに回復しつつある 【令和5年10月判断以来、4期ぶりの上方修正】		個人消費は、持ち直している。生産活動は、緩やかに回復しつつある。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

〔先行き〕


先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。








項目	前回（6年7月判断）	今回（6年10月判断）	前回比較
個人消費	持ち直している	持ち直している 【令和5年10月判断以来、5期連続で同じ判断】	
生産活動	足踏みの状況にある	緩やかに回復しつつある 【令和5年10月判断以来、4期ぶりの上方修正】	
雇用情勢	緩やかに改善しつつある	緩やかに改善しつつある 【令和4年10月判断以来、9期連続で同じ判断】	

※6年10月判断は、前回6年7月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。



1.岐阜県内の経済情勢（令和6年10月判断）

【前回との比較（個人消費、生産活動、雇用情勢）】

	前回（6年7月判断）	今回（6年10月判断）	前 回 比 較
総括判断	回復に向けた動きに一服感がみられる	緩やかに回復しつつある	

個人消費	持ち直している	持ち直している	
（百貨店・スーパー）	緩やかに持ち直しつつある。	緩やかに持ち直しつつある。	
（コンビニエンスストア）	横ばいとなっている。	横ばいとなっている。	
（ドラッグストア）	堅調となっている。	堅調となっている。	
（ホームセンター）	弱い動きとなっている。	一進一退の状況にある。	
（家電）	弱い動きとなっている。	このところ持ち直しの動きがみられる。	
（乗用車）	持ち直しの動きがみられる。	持ち直しの動きがみられる。	

生産活動	足踏みの状況にある	緩やかに回復しつつある	
（汎用機械等）	弱い動きとなっている。	弱い動きとなっている。	
（輸送機械）	回復に向けた動きに足踏みがみられる。	緩やかに回復しつつある。	
（電気機械）	持ち直しの動きがみられる。	持ち直している。	
（金属製品）	回復に向けた動きに足踏みがみられる。	緩やかに回復しつつある。	
（窯業・土石）	弱い動きとなっている。	弱い動きとなっている。	
（プラスチック）	弱い動きとなっている。	持ち直しの動きがみられる。	

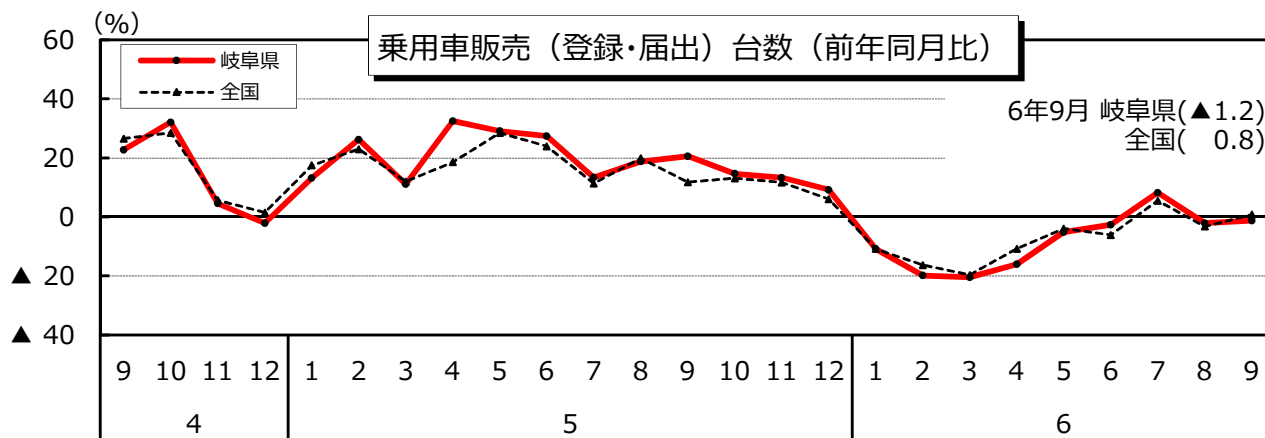
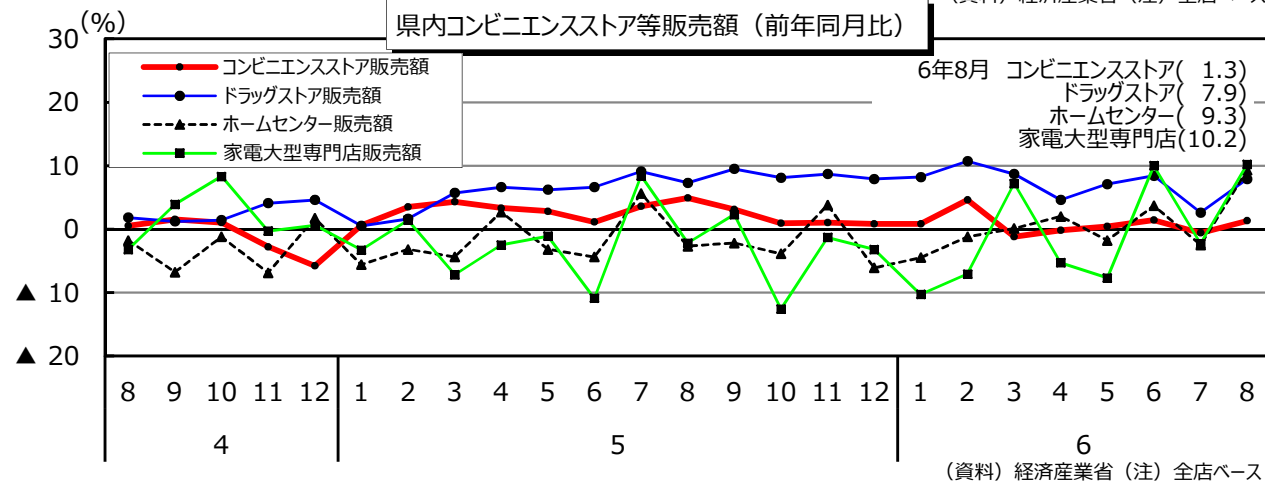
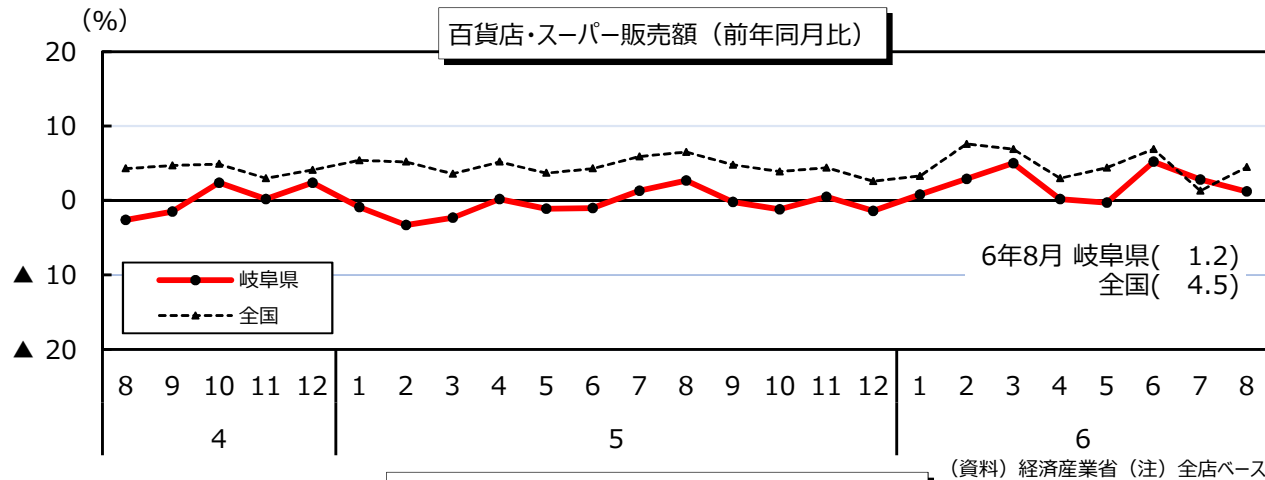
雇用情勢	緩やかに改善しつつある	緩やかに改善しつつある	
（有効求人倍率）	おおむね横ばいで推移している。	おおむね横ばいで推移している。	

1.岐阜県内の経済情勢（令和6年10月判断）

【前回との比較（設備投資、企業収益等）】

	前回（6年7月判断）	今回（6年10月判断）	前 回 比 較
設備投資	6年度は増加見込み	6年度は増加見込み	➡
企業収益	6年度は減益見込み	6年度は減益見込み	➡
企業の景況感	全産業の現状判断（6年4-6月期）は「下降」超	全産業の現状判断（6年7-9月期）は「下降」超	➡
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	➡
公共事業	前年を上回っている	前年を上回っている	➡
企業倒産	件数は前年を下回っている	件数は前年を下回っている	➡

2.個人消費 ～持ち直している～



- 百貨店・スーパー販売は、緩やかに持ち直しつつある。
- コンビニエンスストア販売は、横ばいとなっている。
- ドラッグストア販売は、堅調となっている。
- ホームセンター販売は、一進一退の状況にある。
- 家電大型専門店販売は、このところ持ち直しの動きがみられる。
- 乗用車販売は、持ち直しの動きがみられる。

- 来店客数の増加により引き続き好調。食料品では引き続きメリハリ消費がみられる。【スーパー】
- 引き続き厳しい状況であると思っているが、特需があったため数字としては好転した。足下で売上や客数は底を打ったと感じる。

【ホームセンター】

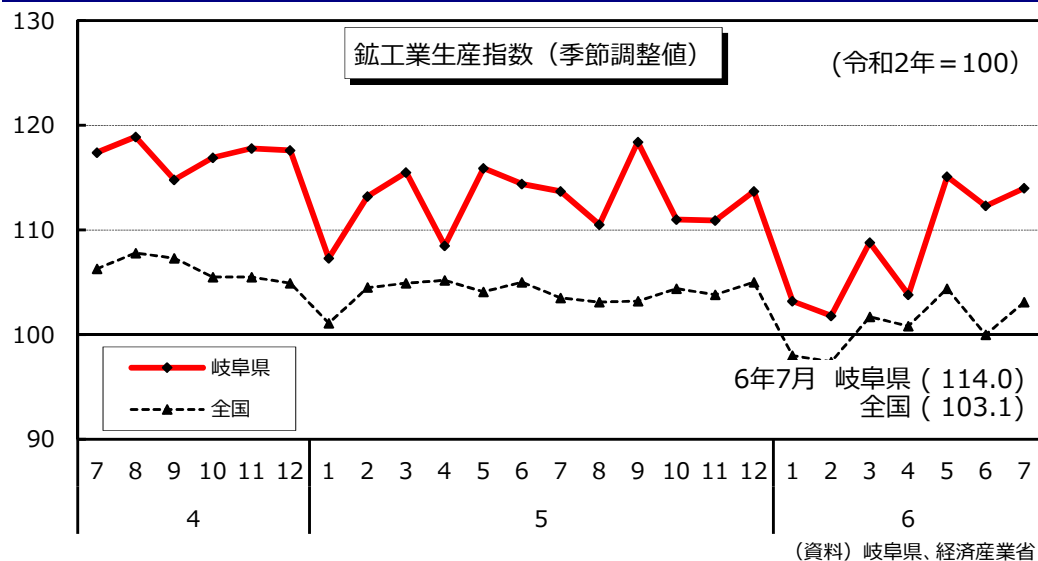
- エアコンを中心とする季節商品の販売が好調。物価高の影響で、顧客の省エネ志向が高く高機能・高単価なモデルが堅調に推移している。

【家電大型専門店】

- 経済状況や物価高などの影響を受けて節約志向の強まりがみられている。

【コンビニエンスストア】

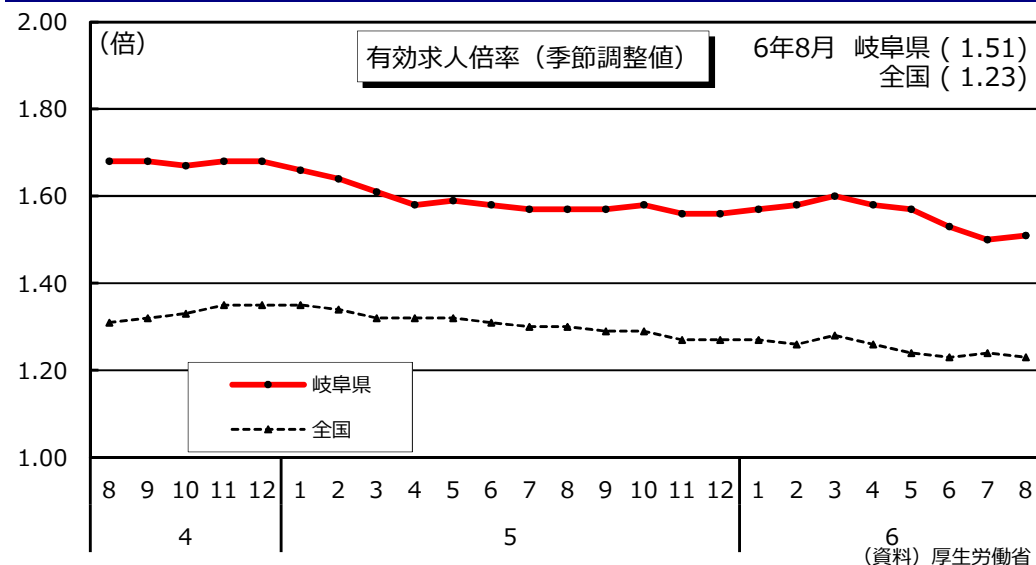
3.生産活動 ～緩やかに回復しつつある～



- ・ 汎用・生産用・業務用機械は、弱い動きとなっている。
- ・ 輸送機械は、緩やかに回復しつつある。
- ・ 電気機械は、持ち直している。
- ・ 金属製品は、緩やかに回復しつつある。
- ・ 窯業・土石は、弱い動きとなっている。
- ・ プラスチックは、持ち直しの動きがみられる。

- 認証不正問題の影響は解消しつつあり、これに伴い生産も回復しつつある。今後、認証不正問題の影響の解消による本格的な回復を見込む。 【輸送機械】
- 自動車の生産回復に伴い、生産は回復傾向。 【金属製品】
- 取引先の在庫調整が一巡して、主力の製品を中心に需要が戻ってきた。前年までの低調な流れは変わってきており、前期に引き続き堅調となっている。 【プラスチック】

4.雇用情勢 ～緩やかに改善しつつある～



- ・ 有効求人倍率は、おおむね横ばいで推移している。

- 募集を行っても応募が少なく、不足感が強い。対策として賃上げ等を実施する。 【ホームセンター】
- サービス部門の整備士が不足している状況が継続している。外国人の整備士も日本人の整備士も技能にあまり差がないことから、外国人の整備士を増やしている。 【乗用車販売】
- 採用には苦労している。ハローワーク、民間サイトを活用しているほか、近隣高校を訪問しPRも行っているものの、集まりはよくない。 【輸送機械】
- 従業員については、いまま募集を継続している状況。これまで取れていた中途採用の確保も難しくなってきている。 【パルプ・紙・紙加工品】

1.本調査結果に関する問い合わせは下記にお願いします。

財務省東海財務局 岐阜財務事務所 財務課

TEL (058)247-4112 (ダイヤルイン)

2.本調査結果の概要は下記ホームページでもご覧頂けます。

<https://lfb.mof.go.jp/tokai/gifu.htm>